


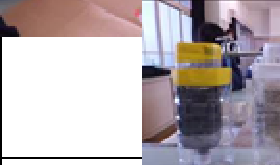

テーマ【自分達が使う水について考える】

《学習のねらい》

- ・くらしに欠かせない水道水が、どのように作られ送られてくるのかを学習する。
- ・浄水場で水をきれいにするしくみを実際に実験して理解し、改めて水の大切さを知る。
- ・自分達が使っている水の量を知り、自分達ができる節水を考える。



《学習の流れ》

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1	浄水場の見学 ① 飲み水ができるまでに淀川の水がきれいになっていく過程を見学する。 ② 水道水は安全でおいしく飲めるようにするために工夫されていることを知る。	■水をきれいにするしくみを知り、水を大切にしようという意識を高める。
2	調べ学習 ① 自分達が普段生活でどのように水道水を使っているのか考え、水を使いすぎている場面に気づく。 ② 無駄使いしている水の量を量って比べる。 ③ 節水の方法を調べる。 【雑巾・上靴】水道水を流しながら洗う⇒バケツに水をためて洗う 【パレット】そのまま水道水で洗う⇒紙で拭いてから水道水で洗う	■自分達が無駄使いしている水の量を知り、水を大切にしようという意識を高める。
3	出前授業 ○飲み水をつくる実験を通して、水資源の保全についての理解を深める。	 
4	学習のまとめ	

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

泉浄水場見学、水道出前授業（吹田市水道部）

《成果》

- 普段使っている水ができるまでに大変な作業があることがわかった。
- 実際に自分達で水をきれいにしてみて、淀川のきたない水が砂や活性炭できれいになり、においもなくなることに驚き、水を大切にしようという意識づけになった。
- 無駄使いしている水の量を知り、節水の方法を考えることで自分達の生活を見直すきっかけになった。